

ワールド・ビジョン・ジャパン

「アドボカシー意識調査」の結果概要

2019年7月

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

○ 調査の目的

1. アドボカシー活動効果の定量的な測定

国会議員へのワールド・ビジョン・ジャパン（以下 WVJ）のアドボカシーの影響力・認知度・子どもの保健に関する理解の浸透状況を定量的に定点調査する。

2. 関係構築

WVJ の活動への理解を深め、今後のアドボカシーへのヒントを得る。

○ 調査方法

対 象： 衆参全議員 701 人(議員名簿に FAX 番号が掲載されていた人)

方 法： 調査票記入による自由回答

調査期間： 2019年7月1日～7月12日

○ 調査結果

有効回収： 22 (3.0%)

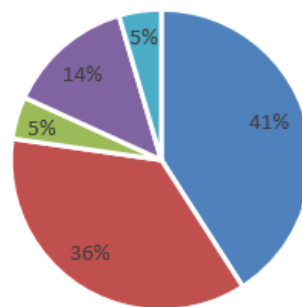
○ 調査項目

1. WVJ の認知度
2. WVJ のアドボカシーの認知度
3. WVJ のアドボカシーの重要課題への関心度
4. WVJ からの政策提言の有無
5. WVJ から政策提言を受けた分野
6. WVJ からの政策提言による影響
7. SDGs の認知度
8. SDGs において日本政府が注力すべき ODA 分野
9. SDGs において日本政府が日本国内で注力すべき分野
10. SDGs において議員自身が取り組みたいこと
11. WVJ との協力関係

○ 政党別内訳

政党名 (FAX 送付した党員数)	回答数	回答率*
自民党 (403)	9	2%
立憲民主党(77)	8	10%
国民民主党(58)	1	2%
共産党(26)	3	12%
希望の党(5)	1	20%

調査票返信 政党別内訳



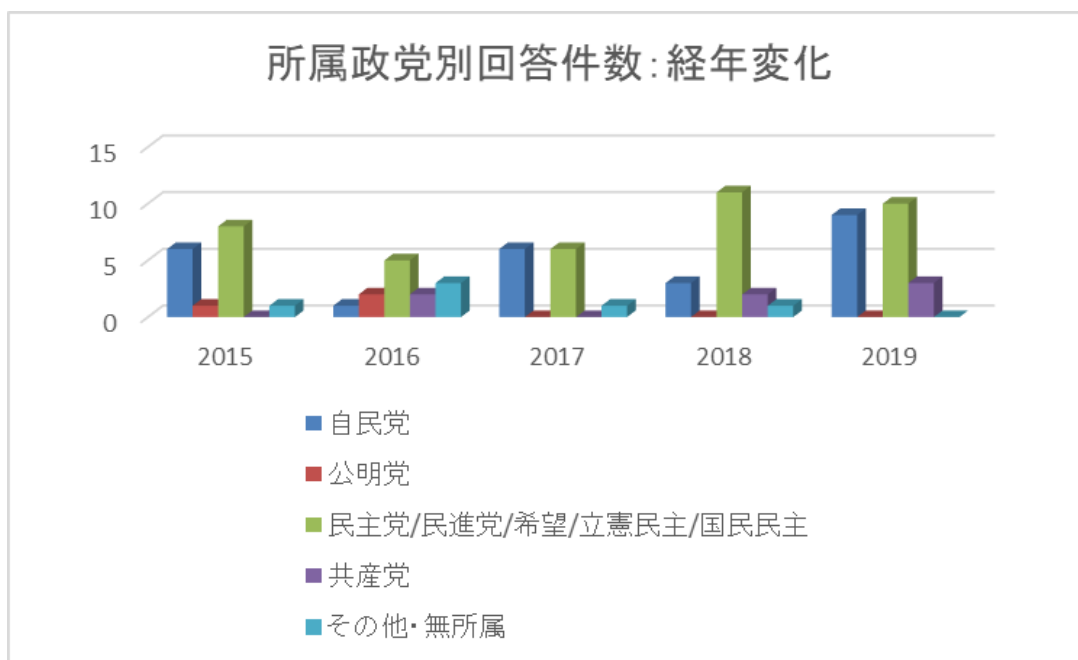
■ 自民党 ■ 立憲民主党 ■ 国民民主党 ■ 共産党 ■ 希望の党

* 回答数÷FAX 送付した党員数

<返信がなかった政党> ()内は党員数

公明党(54)、日本維新の会(23)、自由党(5)、社会民主党(4)、無所属 (46)

【傾向】 自民党、立憲民主党による調査票返信件数が多いが、各党員数に占める割合を出すと、**野党の方が与党よりも調査への協力意向が強い**ことがわかる。



○ 男女別回答率

【傾向】

議員総数 (707 人) に占める女性議員数 (97 人) は 14%だが、今回の調査票返信者 (21 人) に占める女性議員数 (8 人) は 38%で、**女性議員の方が調査への協力意向が強い**傾向が明らかになった。

質問 1. あなたは、途上国の子どもたちを支援している国際 NGO「ワールド・ビジョン・ジャパン」(以下 WVJ) についてご存知ですか？

- | | | |
|---------------|-----|-------|
| ① 名前だけ知っている | 8 人 | (36%) |
| ② 名前も活動も知っている | 5 人 | (23%) |
| ③ 知らない | 9 人 | (41%) |

【傾向】 回答者の半数以上が何らかの形で「WVJ」を認知している。

質問 2. 質問 1 に①または②と回答された方のみ ⇒

WVJ のアドボカシー (市民社会や政府への働きかけを通じて不公正な社会を変革すること) についてご存知ですか？ (複数回答可)

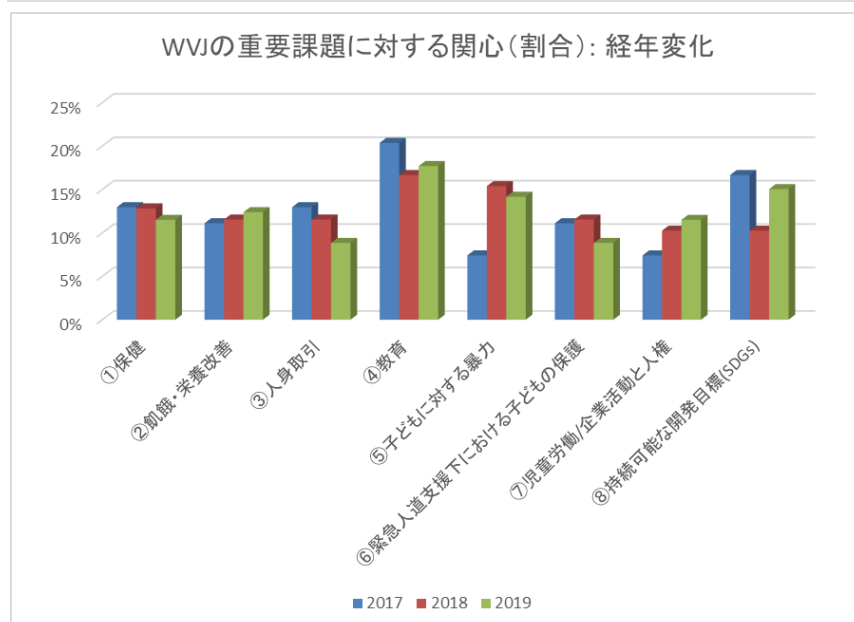
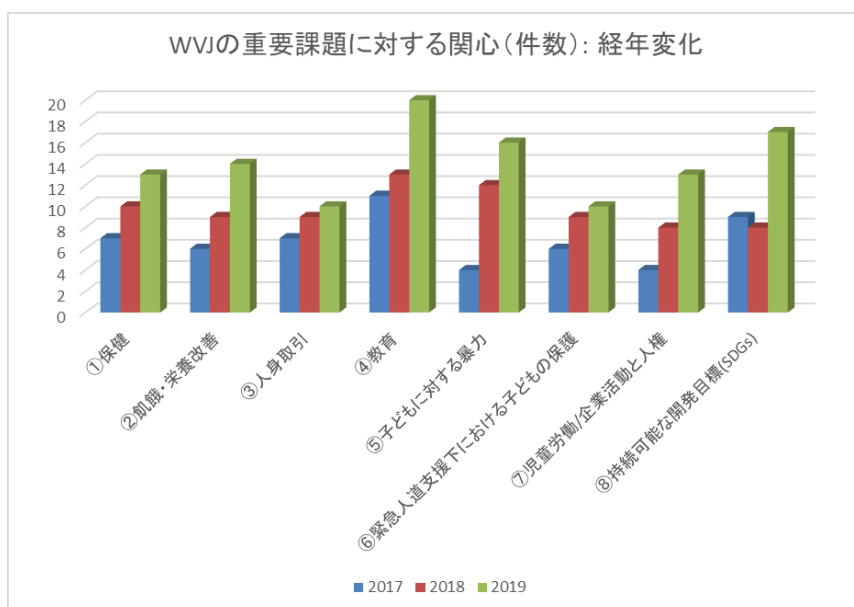
- | | | |
|---------------|-----|-------|
| ① 名前だけ知っている | 9 人 | (41%) |
| ② 名前も活動も知っている | 3 人 | (14%) |
| ③ 知らない | 1 人 | (4%) |
| 回答なし | 9 人 | (41%) |

質問3. WVJが重要課題として掲げている以下のうち、ご自身が関心のある分野はありますか？（複数回答可）

	FY19	FY18	FY17
① 教育	20人	13人	11人
② 持続可能な開発目標（SDGs）	17人	8人	9人
③ 子どもに対する暴力	16人	12人	4人
④ 飢餓・栄養改善	14人	9人	6人
⑤ 保健	13人	10人	7人
⑥ 児童労働・企業活動と人権	12人	8人	4人
⑦ 人身取引	10人	9人	7人
⑧ 緊急人道支援下における子どもの保護	10人	9人	6人

【傾向】 今年度は回答数が多かったという要因もあり、すべての課題への関心（件数）が増加する結果となった。

「教育」が3年連続でもっとも高い関心を集めている。



質問 4. WVJ から政策提言を受けたことがありますか。

- ① 受けたことがある 2人 (9%)
- ② 受けたことがない 13人 (51%)
- ③ わからない 6人 (27%)
- 回答なし 2人 (9%)

【傾向】 WVJ から政策提言を受けたことがあると認識しているのは、回答者の 10%だった。

質問 5. 質問 4 に①と回答された方 ⇒ WVJ からどのような分野における提言を受けましたか。(複数回答可)

	FY19	FY18	FY17
① 教育	1人	2人	0人
② 子どもの権利	1人	2人	1人
③ 保健	1人	1人	1人
④ 栄養	1人	0人	1人
⑤ 人身取引	0人	0人	0人
⑥ G7・G20 サミット	0人	0人	0人
⑦ その他	0人	0人	0人

質問 6. 質問 4 に①と回答された方のみ ⇒

WVJ の提言により、ご自身の政治活動が影響を受けたことがありますか。

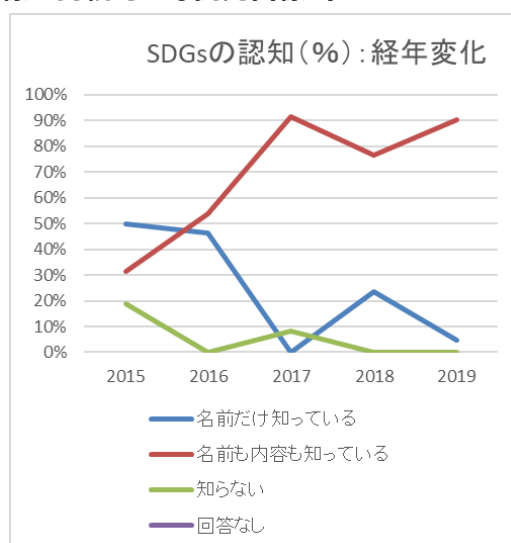
- ① 自身の政治活動に活かした 1人
- ② 政策変更に向け政治活動を行った 1人
- ③ 提言を受けたテーマに関心を持つようになった 0人
- ④ 提言を受けたが影響はない 0人
- ⑤ わからない 0人

【傾向】 WVJ から政策提言を受けたことがある回答者は 2 名とも、自身の政治活動に活かしている。

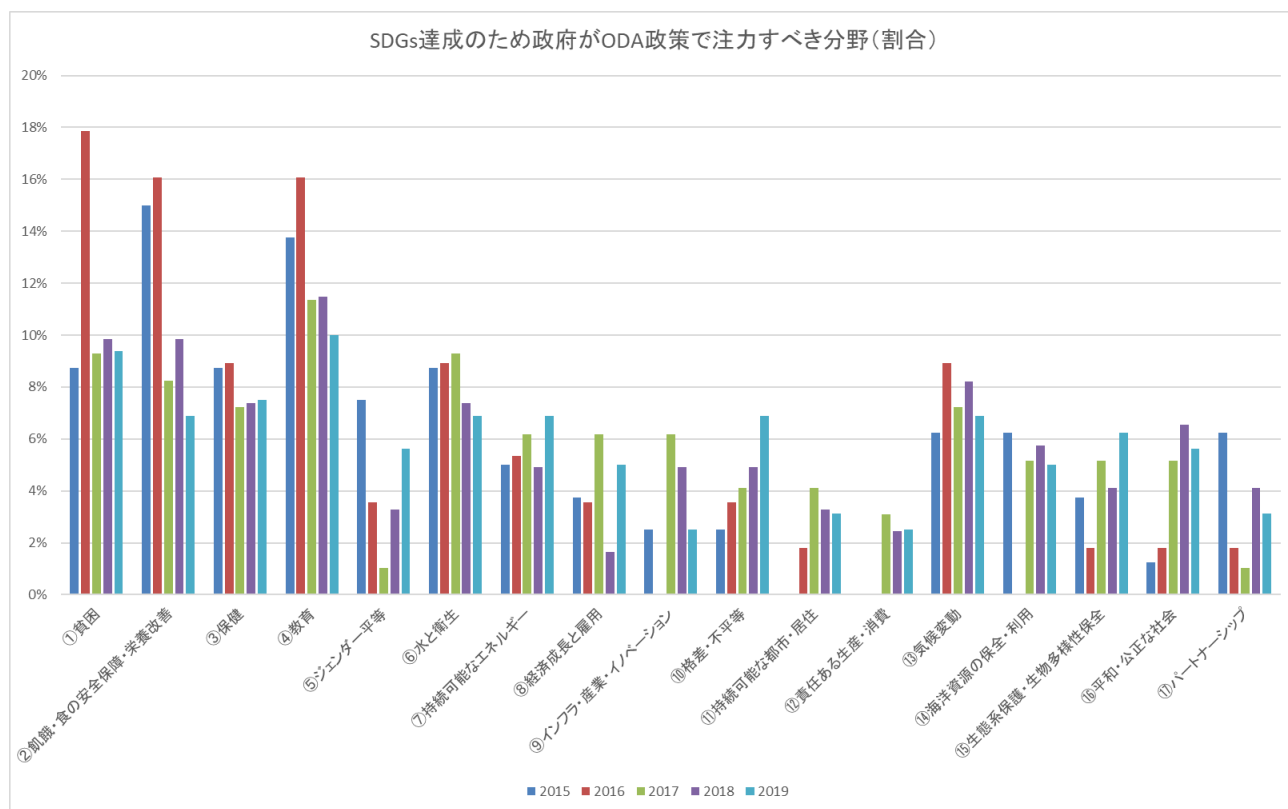
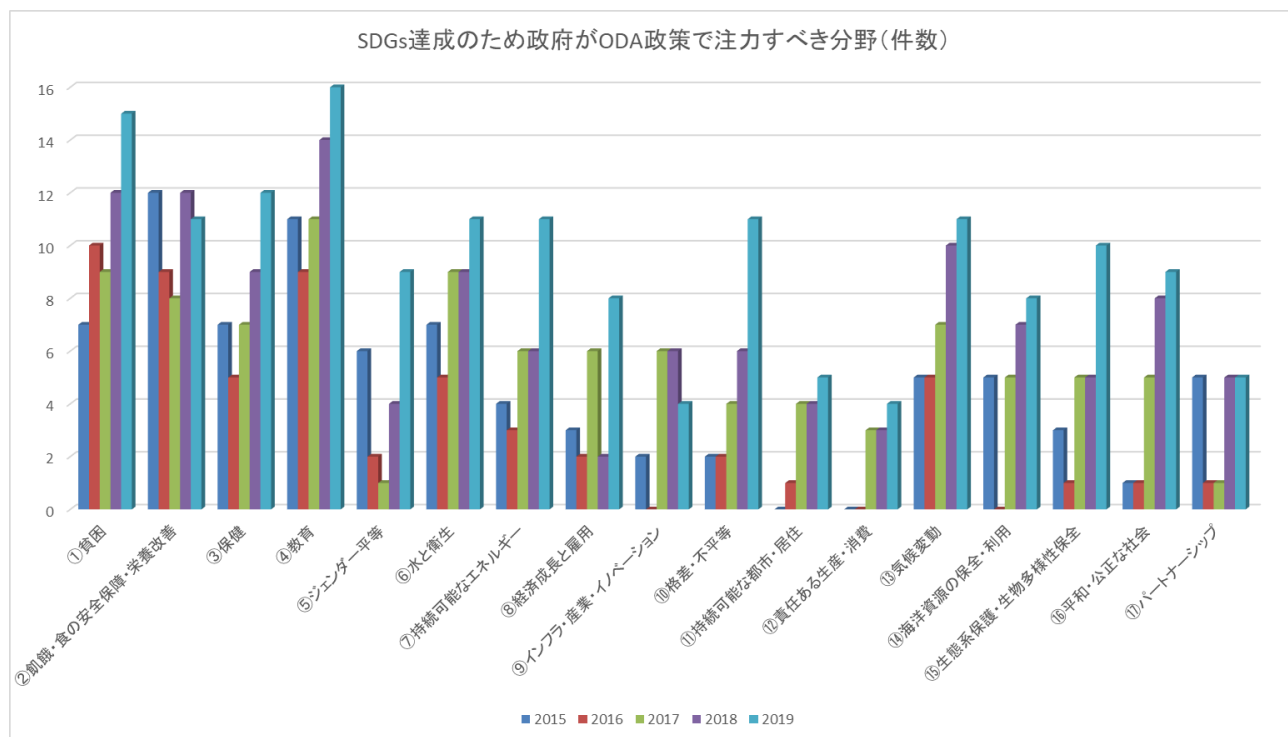
質問 7. 2015 年 9 月の国連総会で採択された国際的な開発目標「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」について、ご存知ですか。

- ① 名前も内容も知っている 19人 (90%)
- ② 名前だけ知っている 1人 (5%)
- ③ 知らない 0人 (0%)
- 回答なし 1人 (5%)

【傾向】 名前も内容も知っているという回答が増加傾向にある。

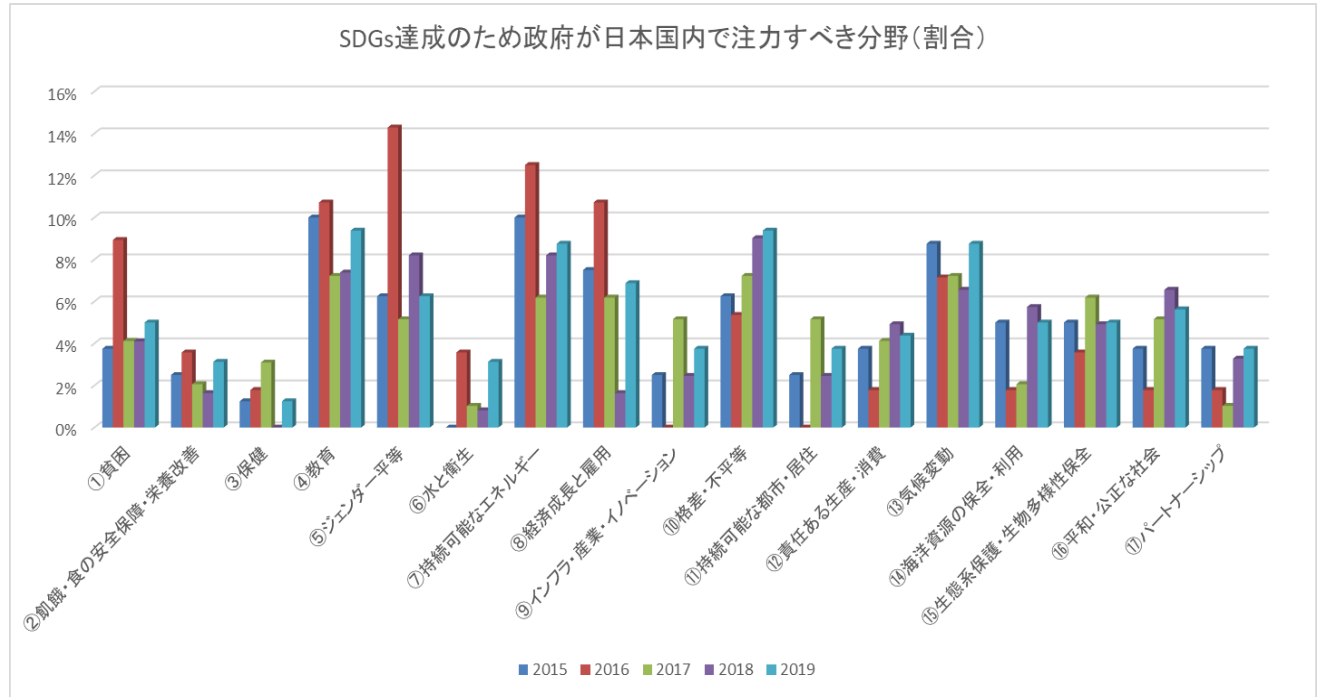
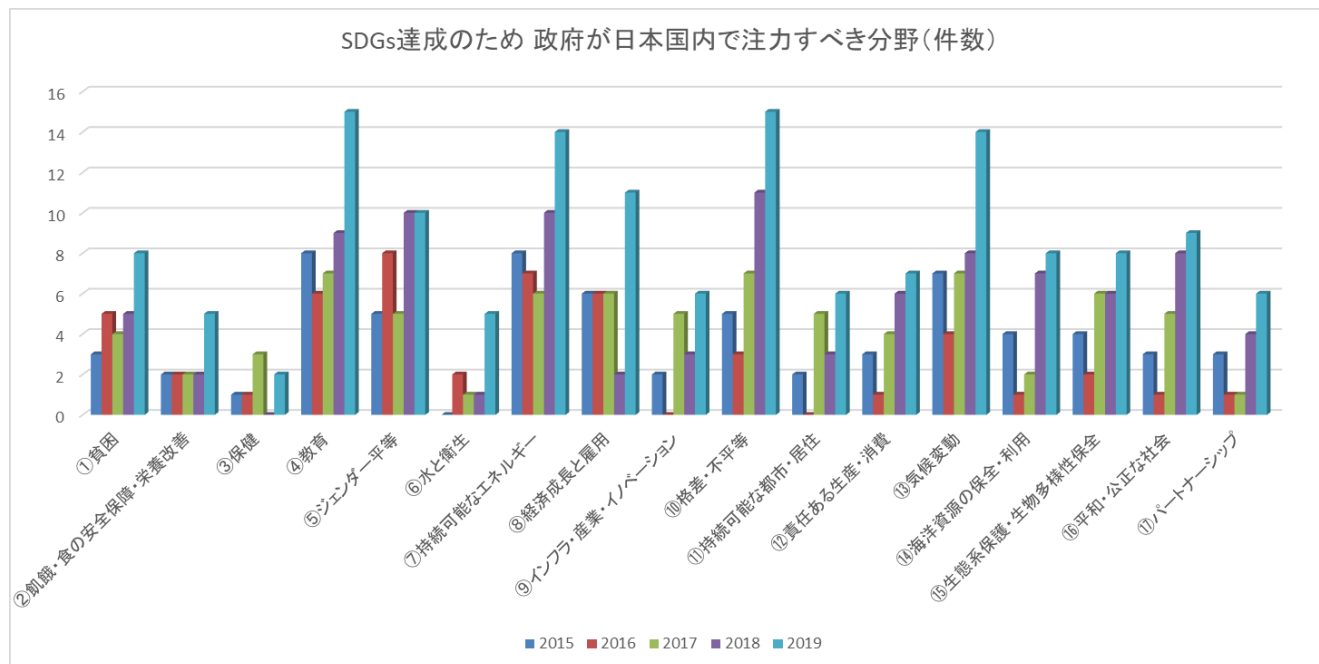


質問 8. 「SDGs」は、以下 17 の目標とそれらに付随する 169 ターゲットにより構成されます。SDGs の達成のため、日本政府は ODA 政策において、どの分野に力を入れるべきと考えますか。(複数回答可)



【傾向】今年度は回答件数が増加していることもあり、ほぼ全項目で昨年度よりも件数が増えた。注力すべき優先順位としては上位から「教育」、「貧困」、「保健」となっており、「飢餓・食の安全保障」、「水と衛生」、「持続可能なエネルギー」「格差・不平等」「気候変動」が続いている。このうち「持続可能なエネルギー」、「格差・不平等」の回答件数は過去 4 年と比べ、大きく伸びている。

質問9. 「SDGs」は、開発途上国のみならず、先進国も対象となります。SDGs の達成のため、日本政府は日本国内で、どの分野に力を入れるべきと考えますか。(複数回答可)



【傾向】 今年度は回答件数の増加という要因もあり、ほぼ全項目で昨年度よりも件数が増えた。「格差・不平等」、「教育」がもっとも多くの回答を集め、「持続可能なエネルギー」「気候変動」が続いた。「ジェンダー平等」は昨年度より減少した。

質問 10. SDGs の実施に向け、ご自身で取り組みを検討されていることがあればお書き下さい。(自由記述)

※以下、回答票より抜粋。

- G20 保健大臣会合
- 民生委員、愛育委員の活動支援
- 原発ゼロに向けた党内外・委員会での取り組み、
- パリテ、議員外交
- 気候変動
- 持続可能な再生エネルギー政策の構築、原発ゼロ法等の成立、福島第一原発事故の究明・被害者救済・損害回復
- 災害対応、防災、子ども子育てに関する政策
- 農林水産大臣政務官。地域資源を活用した CLT 等の木材需要拡大を目指した CLT 議員連盟事務局長
- 子どもの貧困議連はじめ、共同提案や議連で活動しています
- SDGs に基づく日本政府の事業の点検を実施するなど SDGs の具体的な活用について提案したい
- SDGs WT に所属

質問 11. 今後、WVJ との協力を希望されることがあればお知らせ下さい。(複数回答可)

	FY19	FY18	FY17
① 院内集会・講演会への協力	5 人	7 人	2 人
② WVJ との意見交換	4 人	2 人	2 人
③ WVJ からの情報発信を受け取る	7 人	7 人	3 人
④ WVJ のイベントへの参加協力	3 人	2 人	0 人
⑤ わからない	4 人	4 人	5 人
⑥ その他	2 人	0 人	0 人

【傾向】「WVJ からの情報発信を受け取る」「院内集会等への協力」「WVJ との意見交換」など、具体的な協力に関心を寄せる回答者が目立った。

以上